

西東京市における行財政改革の 基本的な方向性について

西東京市 企画部企画政策課

行財政改革の基本的な方向性を検討するうえで、考慮すべきいくつかのキーワードを挙げると・・・

全国的

- 新型コロナウイルス感染症対策
- SDG s
- DXの推進
- ゼロカーボンシティ

西東京市独自

- 「子どもがど真ん中」のまちづくり
- 地域のささえ、つながりのあるまちづくり
- 健康応援都市
- 学校を核とした地域づくり
- 市民とともに発展するまち
- 行財政基盤の強化

第4次行財政改革大綱で掲げた目指すべき将来像

「将来見通しを踏まえた持続可能で自立的な自治体経営の確立」は的を射た表現

第4次行財政改革大綱で掲げた4つの基本方針と推進項目

基本方針Ⅰ 経営の発想に基づいた将来への備え

- (1)ファシリティマネジメントの推進
- (2)受益者負担の適正化
- (3)特別会計の持続性の確保

基本方針Ⅱ 選択と集中による適正な行政資源の配分

- (1)戦略的な行政資源の活用
- (2)固定的経費の削減
- (3)補助金・負担金の適正化

基本方針Ⅲ 効果的なサービス提供の仕組みづくり

- (1)地域の多様な活動主体との連携と協働
- (2)民間活力の活用促進
- (3)戦略的な組織体制の構築と人材育成の充実

基本方針Ⅳ 安定的な自主財源の確保

- (1)徴収率の向上
- (2)市有財産の有効活用による歳入の確保
- (3)新たな歳入項目の創出

行財政改革に関連する計画等

○公共施設等総合管理計画

令和5年度末の改定に向けて、機能別の方針検討、施設別行政コスト計算書の作成などを実施、今後、財政シミュレーションの作成や再編モデル案の作成を予定している。（総量抑制、更新費用の平準化）

○人材育成基本方針（必要とされる職員の確保・育成）

求める職員像として以下の3点を掲げている。

- ・市民ニーズに的確に対応できる職員
- ・プロフェッショナルとしての意識を持ち、責任ある行動をとることができる職員
- ・チャレンジ精神を持ち、課題に挑戦していく職員

○第5次定員適正化計画（定数管理・適正配置）

- ・定数削減のための計画から適正配分のための計画へシフト（第4次定員適正化計画より）

○国民健康保険財政健全化計画（一般会計からの法定外繰入の段階的な解消・削減）

- ・コロナ禍において保険料改定を見送ったことから、現在、令和2年3月に策定した計画の見直しを行っている。